様式W-2

共同利用実施報告書（研究実績報告書）

（研究集会）

１．課題番号　　　２０ －W－

２．研究集会名（集会名の英訳もご記入ください。）

　　　和文：

　　　英文：

３．研究代表者　所属・氏名

（地震研究所　担当教員名）

４．開催日：

５．開催場所：

６．研究集会参加者の詳細　（研究代表者も記載し、必要に応じ行を追加してください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属・職名 | 旅費支給の有無 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

【ご協力のお願い】

文部科学省へ提出する「共同利用・共同研究拠点実施状況報告書」において、研究者参加状況について、内数の記載が求められております。そのため、大変お手数をおかけいたしまして申し訳ございませんが、研究組織に含まれる研究者について、以下の情報をご教示くださいますようお願いいたします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究組織のうち　35歳以下 |  | 名 |
| 女性 |  | 名 |
| 外国人 |  | 名 |

※原則として、共同利用実施報告書は、地震研究所webサイトにて公開しておりますが、上記参加状況の内数につきましては、webサイトには掲載いたしません。

※文部科学省へは総数のみを報告し、課題毎の参加人数は報告いたしません。

７．研究集会の概要（200〜400字）

|  |
| --- |
|  |

8．延べ参加人数、研究集会の概要（100字程度、共同利用・共同研究拠点実施報告書に掲載します。）

延べ参加人数　　　　名　（うち外国人数　　　　名）

|  |
| --- |
|  |

9．外部資金の申請・採択状況（任意、本紙提出後に採択の際にはメールでお知らせください。）

報告書（様式W-2）作成にあたってのお願い

・ Web申請システム（https://erikyodo.confit.atlas.jp/login）にて提出してください。

・ 本報告書は、地震研究所Webページから公開されます。

・ 「６．研究集会参加者の詳細」については、参加者全員について個別に、氏名・所属・職名・旅費支給の有無を記入してください。必要に応じて表の行を追加してください。

・「６．研究集会参加者の詳細」については、文部科学省へ提出する「共同利用・共同研究拠点実施状況報告書」において、研究者参加状況について、内数の記載が求められております。そのため、差し支えなければ、研究組織に含まれる研究者について、35歳以下の若手研究者、女性研究者及び外国人研究者の内数について、ご記入ください。

・ 本報告書の他に、研究集会のプログラムも提出してください。※

・ 予稿集、論文集等があれば、提出してください。※

・ 所外の課題代表者は、所内担当教員に必ず実績について地震研業績DBへの登録依頼をしてください。

・ 「９．外部資金の申請・採択結果」は、共同利用・共同研究拠点事業の参考成果として参照させて頂きます。本公募研究成果から、各種競争的資金・受託研究・産学連携の共同研究などへ繋がった場合は、その名称、研究課題名、期間、代表者、資金総額（予定額）などについて、記載してください。

　※：プログラム、予稿集等については、可能であれば電子媒体にて下記メールアドレス宛にご提出ください。難しい場合は、郵送にてご提出ください。

【提出先】

〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学地震研究所研究支援チーム（共同利用担当）

E-mail：[k-kyodoriyo@eri.u-tokyo.ac.jp](mailto:k-kyodoriyo@eri.u-tokyo.ac.jp)

|  |
| --- |
| 研究成果公表にあたってのお願い  東京大学地震研究所の共同利用・共同研究により得た研究成果を発表する場合は、地震研究所より助成を受けたことを必ず表示してください。  予稿集またはプロシーディングスも同様です。  Acknowledgment(謝辞)に、地震研究所より助成を受けた旨を記載する場合には「ERI JURP　20XX-X-XXの課題番号」を必ず含めてください。  （記載例：課題番号｢2009-G-01｣）  【英文】：This study/workshop was supported by ERI JURP 2009-G-01.  【和文】：本研究/研究集会は東京大学地震研究所共同利用(2009-G-01)の援助をうけました。 |